

JR 美祿線利用促進協議会

第 1 回復旧後の利用促進検討ワーキンググループ議事概要

1 開催日

令和 5 年 10 月 30 日（月）

2 会場

美祿市役所本庁 3 階第 1・2 会議室

3 議題

(1) ワーキンググループの検討体制について

事務局から、10 月 25 日付けで「復旧後の利用促進検討ワーキンググループ設置要綱」を制定し、新たに「復旧後の利用促進検討ワーキンググループ」を設置したことを報告した。

(2) 協議会発足（H22）以降の美祿線の利用状況の推移等について

ア 事務局から協議会発足（H22）以降の美祿線の利用状況の推移等を説明し、現状等について情報共有を行った。

(3) 今後のワーキンググループの進め方について

ア 地域における美祿線の役割等の整理に関する議論を、早い段階で行いたいとの意見があった。⇒JR 西日本

イ 復旧後の利用促進検討ワーキンググループで美祿線の役割等を議論できない場合は、別の組織を立ち上げて、議論していくことも並行して検討するべきとの意見があった。⇒JR 西日本

ウ 利用促進協議会の中に設置しているワーキンググループであり、この中でできることとできないことがあるが、参加者がそれぞれの立場で意見を言われることは妨げない。⇒事務局

オ 鉄道復旧後の利用促進を検討することが入口となることから、まずは、これまでの取組を振り返り、利用促進策を検討することが必要である。⇒事務局

カ 第 2 回は、交通工学の専門家であり、沿線 3 市の地域公共交通計画にも携わっておられる山口大学の榊原教授を学識経験者として招聘し、意見をいただくこととなった。

以上の議論を経て、今後も利用促進策等について検討を重ね、本協議会の総会に報告することを確認し、第 1 回復旧後の利用促進検討ワーキンググループは終了した。